

## 地球の歴史を 体感しよう

いん石や化石をもっと身近に感じられる、  
わかりやすい展示を目指します。



「カップラーメン1年分」といわれても、それがどのくらいの量なのかなかなかピンときませんよね。それなのに、大人ひと抱えほどもあるいん石を前に、「これは46億年前にできたもので…」などと言われても、「それってどのくらい昔?」、「重さは855キログラムあります」と言われても、「それってどれくらい重いのか?」とつい思ってしまいます。

単に数字で知るだけではなく、「わかる」展示を目指して、地球と生命の長い歴史をご紹介する生命の海科学館の展示室は、この夏最初の一步を踏み出します。展示解説コンピューターの中に収められていた情報を、皆さんの目や、手や、耳にふれやすいところにお届けします。

以前見たことのあるあのいん石、あの化石が、前よりもすごいヤツに見えてくるかも!?



## 科学の今を伝えます

いん石や化石みたいな古いモノ、新しいものの好きの私には関係ないわ!と思ってしまうませんか?確かにどちらも、はるか昔にできたものです。でも、それぞれ最新の、最先端の科学につながっています。

たとえば科学館展示室にあるアエンデいん石は、今年6月13日に地球に帰還し本体は流星となった小惑星探査機「はやぶさ」のミッションと深く関係しています。また、およそ5億5千万年前、生物の爆発的進化によって登場したカンブリア紀の動物たちの化石は、最先端の遺伝子の研究と結びついています。(どう関係しているのかは、科学館の新しい展示を見てくださいね)

生命の海科学館は、展示だけでなく講演やレクチャーなどのさまざまな科学イベントを通じて、最先端の科学を紹介します。



ことのできるホバークラフト作りにチャレンジしています。

「屋内なら大丈夫なのですが、まだ人が乗った状態でアスファルトの上を長時間間走らせることができません。でも、開発を重ねて着々と性能が上がっているの  
で、実現は近いと思います。いつかは科学館の池の上を走らせられたらいいなあ!」とのこと。科学館でもしホバークラフトを開発中の浅井インタープリターを見かけたら、声をかけてみてくださいね。もしかしたらホバークラフトに乗せてもらえるかも!?



浅井インタープリターと開発中のホバークラフト

生命の海科学館 学芸員 山中敦子  
問合先 (☎66♦1717)  
<http://www.gamagori.aichi.jp/>